

<個別案件確認表（組織委員会）>

組織委員会担当確認 令和 3年 3月 5日

新型コロナ作業部会確認 令和 3年 3月 10日

事業名 大会期間中の警備関係者用宿泊仮設施設の増設について

(新型コロナウイルス感染症対策事業)

案件名 大会期間中の警備関係者用宿泊仮設施設の増設について

(新型コロナウイルス感染症対策事業)

確認の視点		組織委員会の見解	備考
経費の負担が令和 2 年 12 月 4 日の合意の考え方に基づくものであること		大会自主警備等の大会運営に協力する警備関係者のほとんどは関係者エリアでの勤務であり、アスリートや主催者を始めとする大会の中核的な関係者と接触する可能性が非常に高い。また、協力に当たる警備関係者の人員数も多く、万が一にもクラスターを発生させてしまうと、大会運営に甚大な支障が生じる。そのような中、警備関係者の宿泊場所に関し、3密の回避やフィジカル・ディスタンスの確保を実現するために増設せざるを得ない分のユニットハウスについては、感染症対策関連の経費に該当するものとする。	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること		警備関係者は組織委員会からの依頼に基づき大会運営に協力する立場であり、また、延期前から建設することとした分のユニットハウスについては組織委員会が調達することとしていたことから、組織委員会が一括で調達し運用することが最も効率的であると判断した。	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	本事業は、大会自主警備等の大会運営に関し警備関係者から大規模な協力を得るために必要な基盤整備であり、安全・安心な大会実現のために必要不可欠である。	
	効率性	警備関係者既存施設を最大限活用することに加え、自転車ロード競技への支援など短期間の警備関係者の宿泊を郊外のホテル確保に切り替えることで、ユニットハウスの建設数を最小限に抑えることとしている。設置棟数及び設置個所を必要最小限とし、指名競争入札とすることでコストの最小化に努める。	
	納得性	約 1 か月間の宿泊に際し、警備関係者敷地内にユニットハウス建設を建設する方が都内ホテルを借上げるよりも安価となることや、指名競争入札によって更なるコスト削減につながることを考慮した結果、本内容での調達方式とすることとした。	
その他経費の内容等		大会運営に協力する警備関係者の宿泊場所に関して	

<p>が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<p>は、従前、施設内の体育館等警備関係者の既存施設にま とめて多くを宿泊させる予定であったところ、3密の回 避やフィジカル・ディスタンスの確保を実現するために ユニットハウスを増設することは、警備関係者員自身の 安全・安心確保にも資する。</p> <p>また、経費についても最小化しており、公費負担の対 象として適切であると考えます。</p>	
------------------------------	--	--